

施策評価シート

幹事部局

地域振興部

施策の名称	IV-2-(4) 関係人口の拡大
施策の目的	<p>都市部にいながら何らかの形で島根と関わりたいと希望する人々を掘り起こし、県内での活動の場を提供して、地域活性化への貢献や将来の移住につなげます。</p>
施策の現状 に対する評価	<p>①(関係人口の拡大と地域貢献の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまコアカデミーや東京・大阪での関係人口に関するセミナー、しまね田舎ツーリズムの取組により、都市部の方々の県内への理解促進や住民との交流が生まれ、関係人口の掘り起こしに繋がっている。令和2年度は、特にセミナーへの参加者が令和元年度と比べて増加した。 ・関係人口を受け入れようとする地域に対して、アドバイザーの派遣や立ち上がり支援を行い、関わりしろの見える化等、地域の関係人口の受け入れに向けた取組を支援しているが、地域における関係人口への理解や受入気運の醸成が不足している。 <p>②(島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR情報誌「シマネスク」による発信で、イメージアップを図るとともに、若い世代や海外に向け、電子書籍化やInstagramの開設を行った。 ・シマネスク読者アンケートでは概ね好評価である一方、発信(PR)の方法に課題がある。 ・「リメンバーしまね」では、団員参加型の企画を実施したが、団員同士の交流の広がり欠け、コンテンツも固定化したものが多く、新たな団員獲得が課題である。 ・島根への感謝や貢献したいという考えを有する方々に、ふるさと島根寄附金制度の活用をしてもらえよう、ふるさと島根寄附金制度の周知方法に工夫がいる。 <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から、県外進学した学生等を対象にイベントの開催やコミュニティ活動の支援を行い、関係人口化を進めている。 ・関係人口と地域をマッチングする「しまね関係人口マッチング・交流サイト」の開設に向けて、現在準備を進めている。
今後の取組 の方向性	<p>①(関係人口の拡大と地域貢献の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまコアカデミー等により関係人口を掘り起こすほか、県外進学した学生等を対象に関係人口に関するイベントの開催等により、関係人口化を促進し、県内就職にも繋げていく。 ・地域の関係人口受入気運の醸成については、市町村研修やセミナーを開催し、市町村と連携して進める。 ・「しまね関係人口マッチング・交流サイト」を令和3年10月に開設し、しまコアカデミーの受講者等の関係人口登録を促すとともに、市町村と連携し、関係人口を受け入れたい地域の求人票の登録を進める。 <p>②(島根を応援する人を増やすための情報発信と交流の場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シマネスク」を若い世代に訴求するため、SNS広告を活用した情報発信を行う。 ・「リメンバーしまね」サイトでの団員同士の交流がしやすく、また、新たな団員の獲得につながるコンテンツの充実を図る。 ・ふるさと島根寄附金における寄附金の活用目的、活用事業等の周知に更に取り組み、寄附者との継続的なつながりを持つよう取り組む。

事務事業の一覧

施策の名称	IV-2-(4) 関係人口の拡大				
-------	------------------	--	--	--	--

	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	ふるさと島根寄附金	国民	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。	54857	43255	政策企画監室
2	ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)	地域への関わりを希望する者	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、様々な形で島根に貢献できる機会や活動の場を提供する。	22651	50,120	しまね暮らし推進課
3	島根県の認知度向上対策事業	県外在住者	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる	20180	25345	広聴広報課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

政策企画監室

事務事業の名称		ふるさと島根寄附金				
目的	誰(何)を対象として	国民	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額	
	どういう状態を目指すのか	ふるさと納税のPRを最小の経費で効果的に行い、寄附を通じて島根に関心を持つ人や島根を応援する人の増加に寄与する。		54,857	43,255	
			うち一般財源 (千円)	13,679	12,027	
今年度の取組内容		<p>・ふるさと島根寄附金条例に基づき収受した寄附金を基金へ積み立て、県の行う事業の推進のために活用するとともに、制度の活性化を図るために、パンフレット等によるPR、県産品の贈呈、クレジットカード等による寄附金収納事務を行う。</p> <p>・総務省からは、「ふるさと納税に係る指定制度」が導入され、返礼品の取り扱いがルール化されるとともに、制度の運営にあたり市町村への助言・支援を行うことが求められており、相談対応、情報提供及び意見交換を行う。</p> <p>また、今年度はプロポーザルにより県産品贈呈事業委託先の選定を行うことし、透明性を担保する。</p>				
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと		寄附金を活用した事業報告については、写真などを活用しわかりやすい内容に変更した。				
1	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策		
2	上位の施策		4	上位の施策		

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上 分類
1	ふるさと島根寄附金の寄附件数【当該年度4月～3月】	目標値		2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	件	単年度 値
		実績値	1,318.0	2,038.0						
		達成率	—	101.9	—	—	—	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<p>・令和2年度実績 寄附件数は前年度より720件の増、寄附金額:41,171千円(昨年度より16,006千円の増)</p> <p>・ふるさと納税を実施する団体においては、令和元年6月より「ふるさと納税に係る指定制度」が導入され、総務省の指定を受けることが必要となった。指定を受けるにあたっては返礼品については次の基準を満たす必要があるほか、返礼品を強調した広告や返礼品を主とした内容のパンフレットの不特定多数への配布はできない。①寄附金に占める返礼品の割合が3割以下であること、②寄附金に占めるの返礼品と事務費を含めた割合が5割以下であること、③国の基準を満たす地場産品に限られる。</p>								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	令和2年度から、寄附活用事業に新型コロナウイルス感染症対策事業を加え、この事業への寄附が大幅に増加したことにより目標値を達成することができた。また、寄附金額についても昨年度の1.6倍を上回る金額が集まり各事業への充当をすることができた。
課題分析	① 課題	全体での目標件数は達成することができたが、それぞれの寄附活用事業では、目標金額に満たなかった事業がある。社会情勢により寄附が一部の事業に偏る傾向がある。
	② 原因	それそれぞれの寄附活用事業について、寄附金の活用目的、活用内容の周知が十分でない。
	③ 方向性	<p>・寄附者に対して制度の趣旨、寄附金活用の理解をより促すため、今後、活用事業の詳細をホームページでわかりやすく伝えるなどPRの方法を検討する。</p> <p>・これまでも寄附金を活用した事業の実績報告書を作成し、寄附者に対してメールや郵送等により周知しているが、引き続き理解を得ることが必要。</p>

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

しまね暮らし推進課

事務事業の名称		ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)			
目的	誰(何)を対象として	地域への関わりを希望する者	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根に関わりたいと希望する人々を掘り起こし、様々な形で島根に貢献できる機会や活動の場を提供する。		12,332	50,120
			うち一般財源 (千円)	11,217	33,694
今年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口と地域をマッチングする関係案内所の構築 ・大学生の関係人口化を図るセミナー等の開催 ・移住支援サテライト東京及び大阪ふるさと定住・雇用情報コーナーによるセミナー等の開催を通じた関係人口の掘り起こしやコミュニティ連携支援 ・都市部の大学と連携した島根の地域を学ぶ講座の開催 			
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者研修の開催 ・市町村や住民向けチラシの配布、CATVでのCM放映、新聞広告の掲載 ・地域に対する活動経費の助成やアドバイザー派遣等の支援の実施 			
1	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	3	上位の施策	
2	上位の施策	III-3-(1) 稼げるまちづくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	しまこアカデミー受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		214.0	259.0	304.0	349.0	394.0	人	累計値
		実績値	176.0	218.0						
		達成率	—	101.9	—	—	—	—		
2	移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー累計受講者数【当該年度4月～3月】	目標値		231.0	940.0	1,290.0	1,640.0	1,990.0	人	累計値
		実績値	190.0	697.0						
		達成率	—	301.8	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		しまね田舎ツーリズム実践者数は、R1年度106件、R2年度131件と推移								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・島根に関わりたいと希望する人の掘り起こしを行う、しまこアカデミー参加者は、増加の状況 ・島根への興味や関心を持つ人の掘り起こしを行う、東京拠点等での関係人口拡大セミナー受講者は、増加の状況
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 現時点では、地域の関係人口を受け入れる気運の醸成や、関係人口の関わりしるの発掘・見える化が進んでいない。 ② 学生を対象としたセミナー等への参加者が少ない。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> ① 多くの市町村で関係人口に関する取組が進んでおらず、市町村からの地域への働きかけが弱い。 ② 学生に情報を届ける仕組みが整っていない。
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 市町村を対象とした研修での、先事例を紹介などにより、横展開を図る。 ①-2 ふるさと島根定住財団と市町村が連携して関係案内所機能を担う仕組みを検討する。 ② 学生向けセミナー実施者において高校卒業前にイベントを開催し、参加者とのつながりを作っておくことにより、卒業後も情報を提供できるようにしておく。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	ふるさと島根定住推進事業(関係人口創出・拡大事業)
---------	---------------------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	関係人口マッチングサイトによる県内地域へのマッチング件数【当該年度4月～3月】	目標値	\	(新規事業)	10.0	30.0	50.0	70.0	件	累計値
		実績値	0.0							
		達成率	—	#VALUE!	—	—	—	—		
4		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
5		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
6		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
7		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
8		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値	\							
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

広聴広報課

事務事業の名称		島根県の認知度向上対策事業			
目的	誰(何)を対象として	県外在住者	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	島根の魅力や島根らしさの情報発信を行うことで県の認知度を向上させる		20,180	25,345
			うち一般財源 (千円)	19,520	24,685
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 島根PR情報誌配布事業: 島根をPRする県外向けの総合誌「シマネスク」の制作、配布による情報発信 県外への情報提供(遣島使): 県情報の提供等により遣島使のPR活動を支援 県外への情報提供(県人会): 県情報の提供、県外在住労働者への表彰などにより県人会の活動を支援 島根の応援団ネットワーク事業: 島根県応援サイト「リメンバーしまね」の運営により島根応援団のネットワークの構築や情報発信、しまねSuper大使吉田くんを活用した県のPR活動を実施 				
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	「リメンバーしまね」において、10～30代の新規団員登録を狙いInstagramを活用した新規コンテンツを展開した。また、若年層のサイトに対する興味関心を引くため、動画を制作し、サイトおよびYouTubeにて公開した。				
1	上位の施策	IV-2-(1) しまねの「暮らし」や「魅力」の情報発信	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-2-(4) 関係人口の拡大	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	島根県応援サイト「リメンバーしまね」総団員数【当該年度3月時点】	目標値		23,500.0	23,900.0	24,300.0	24,700.0	25,100.0	人	累計値
		実績値	23,070.0	23,245.0						
		達成率	—	99.0	—	—	—	—		
2	島根県応援サイト「リメンバーしまね」新規団員数【当該年度3月時点】	目標値		400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	人	単年度値
		実績値	289.0	175.0						
		達成率	—	43.8	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン用アプリ「マチイロ」における「シマネスク」閲覧登録者数 (H31.4月～) R3.6月: 1,173人 公式Instagramにおける「シマネスク(掲載写真)」閲覧登録者数 (R2.12月～) R3.6月: 590人 リメンバーしまねの登録団員に占める県外在住者の割合 (R3.3末) 87.1% 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 島根の応援団ネットワーク事業によるサイト閲覧数や投稿数などの状況は次のとおり。 公式Instagramフォロワー数(R3.3末) 1,108人 サイト閲覧数(年) R2年度: 515,066pv (R元年度: 675,155pvから減少) サイト訪問者数(年) R2年度: 110,887人 (R元年度: 105,612人から増加) 投稿数(年) R2年度: 2,136件 (R元年度: 3,084件から減少) コメント数(年) R2年度: 19,396件 (R元年度: 23,748件から減少)
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> 「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点 リメンバーしまねサイトの各コーナーに投稿している団員が固定化され、コミュニティサイト上の交流が広がりにくい状況にある。 リメンバーしまねサイト初めて訪れるユーザーを団員登録へ誘導できていない。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> 上記①(課題)が発生している原因 固定団員間の投稿やコメントにより、各コーナーで新規団員やライトユーザーにとって投稿やコメントをしづらい雰囲気がある。 リメンバーしまねサイトの中には、新たな投稿がなく情報が更新されていないコーナーがある。
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新規団員やライトユーザーなど多くの人が投稿、参加しやすいコンテンツの展開を進める。 各コーナーの閲覧数など分析を進め、サイト全体の構成を見直し、かつ、多様な登録・参加方法を導入する。